



南関を堪能

まるごと田舎体験事業推進協議会

まるごと田舎体験事業推進協議会(田中光秋会長)は6月24日、ふるさとセンター横の水田で田植え体験を開催しました。

県内外から訪れた47人の参加者は、丁寧に苗を植え付けていきました。田植え後は松永憲司さん(上坂下)による竹製の紙玉テッポウづくり体験が行われ、作った後はどこまで遠くに飛ばすことができるかを競う紙玉飛ばし大会が行われました。その後はポン菓子や南関町の郷土料理など、参加者はやさしい味を楽しみました。

熊本市からの参加者は「今年初めて参加。子どもたちも自分たちもいい経験ができた。秋の収穫も楽しみ」と笑顔で話していました。



▶郷土料理を楽しむ参加者たち

自主性や社会性を育む

2泊3日の通学合宿

町内4つの小学校6年生が参加する「通学合宿」が、学校ごとに町公民館でスタートしました。親元を離れ、2泊3日の共同生活をする中で、自主性や社会性を育みます。

これは町教育委員会が毎年開催し、6月24日から3日間は、第四小学校(堀田昌司校長)の児童12人が参加し、食事の準備や掃除などを協力して行ったり、マナーとルールや人権などについて学習したりしました。

参加した児童からは「6年生で小学校生活のいい思い出になった」「親が毎日大変なことが分かった。親に感謝したい」などの意見が出ました。



▶手分けして調理を行う児童たち(四小)



▶丁寧に苗を植える児童たち

おいしいお米が育つことを願って

三小5年生が田植え体験

第三小学校(森田資典校長)近くの水田で6月18日、児童と相谷の学校応援団が田植えを行いました。

この日は5年生14人と福山正英さん(相谷)と区の人々が参加し、児童に手植えと機械を使った田植えの仕方を教えていました。苗になるまで育てた児童たちは福山さんや地区の人に指導を受けながら、ぬかるむ田んぼに苦戦しながら熱心に苗を植えていました。

福島陸斗さん(相谷)は「苗を数えて分け、決められた場所に植えるのが難しかった。毎年祖父の田植えの手伝いをしてるので、これからも手伝いを頑張りたい」と充実した表情で話しました。



▶隊員に指導を受け楽しく苗を植える園児たち

泥んこの楽しい田植え

保育園児が田植え体験

若手農業者グループ「がまだす隊」(猿渡利和隊長)は6月27日、肥猪の水田で南関こどもの丘保育園の年長児48人と田植えを行いました。

この日は隊員15人が参加し、園児に農業と食の大切さを伝えました。園児たちは隊員に指導を受け、普段触ることのない泥の感触とにおいとまどいながらも、楽しく苗を植えていました。

参加した園児たちからは「泥は不思議な感触がする」「おいがすごい」「また田んぼに入りたい」との声が聞かれました。

植えた苗は隊員が管理し、秋には稲刈りの体験を予定しています。



優勝した第三分団第16部の選手皆さん



積み重ねた訓練の集大成

第30回南関町消防団ポンプ操法大会

南関町消防団(上田弘久団長)は6月17日、保健センター1前駐車場で、「第30回南関町消防団ポンプ操法大会」を開催しました。

同大会は、各地区の消防団員が、消火活動に必要な技術の向上と士気高揚を図ることを目的に2年に1回開催しています。団員たちは大会のために、厳しい訓練を重ねてきました。

この日は快晴の中、19チーム95人が出場。操法が始まると指揮者の力強い号令が響き、迅速かつ正確な動きで、前方の火点として想定された標的に向かってホースを伸ばし、全速力で走りました。

優勝は第三分団第16部(東豊永)、準優勝は第一分団第1部(関町)、3位は第一分団第5部(関下)でした。優勝チームは7月22日に玉東町で行われた玉名郡消防ポンプ操法大会に出場し、準優勝という成績を残しました。